



野沢北高校 校長通信

令和7年 8月25日 号

今年も暑さ厳しい夏ですが、生徒たちは様々な活動に取り組んでいます。2年生・1年生が中心となった各班活動では新人戦やコンクールに向けた準備に余念がありません。3年生は目指す進路実現に向け、それぞれの計画で補習や模擬試験等に取り組んでいます。今の努力がいずれ大輪の花を咲かせることを切に願います。

8月2日に国際宇宙ステーションに出発した宇宙飛行士の油井亀美也さんをはじめ、卒業生の活躍に在校生は勇気もらっています。また、戦後80年の今年、生徒たちは、237名の先輩の尊い命が失われた先の大戦に思いを馳せ、平和への願いを新たに、演劇班の紙芝居朗読や平和フォーラム参加等、様々な活動に取り組んでいます。

◆ 『南極教室』（井上峻博士と野沢北高生とのオンライン交流）開催（7月10日）



氷の説明をする井上博士



井上博士が昭和基地で撮影した南極白夜とオーロラ



第66次南極越冬隊の皆さん

重点研究観測隊員として派遣されている本校第111回卒業生の井上峻博士（28歳）は、南極教室に先立ち本校に南極の歴史が詰まった氷を届けてくれました。当日は南極の景観や研究観測内容の紹介、さらに昭和基地内での生活についての案内に続き、交流予定時間を超えて、たくさんの質問に応えていただきました。

【質問の一部】

- ・数万年前の氷にはCO₂以外何が含まれていますか？・CO₂の濃度が周期的に増えては減っているのはなぜ？
- ・同じ酸素で赤と緑のオーロラが見えるのはなぜですか？・南極条約下では犯罪はどの国の法で裁かれますか？
- ・南極では他国の基地の方々とどのような調査協力や交流をしていますか？・南極のネット環境のレベルは？

交流の最後、井上博士から宇宙への出発を前にした油井亀美也さん（84回生）にメッセージがありました。「私が野沢北に在籍していた時、油井さんが宇宙へ行くことが決まりました。凄い先輩がいるなと思いながら、それが私自身、研究者を目指すきっかけとなり、今それが実現していることに感謝しています。国際宇宙ステーションでのミッション成功を南極より応援しています。」現役の野沢北高生に大いに刺激となるメッセージでした。

◆ 第29回岳澄展開催（8月14日～17日）於：野沢会館 大会議室



第29回岳澄展

この展覧会は、1952年（昭和27年）、故萩原孝一先生から、佐久の自然をイメージした「岳澄展」の名称をいただき、野沢北高校の卒業生と在校生によって始まった美術展です。これまで「美術鑑賞と交流の場」として開催されてきましたが、会員の高齢化等、諸般の事情から、今回をもって終了となりました。最終回の今年も、現役の美術班生徒とOBOGの力作が展示されました。

【佐久新校情報】 第27回佐久新校懇話会資料より



- 設計業者から示された、現時点の計画
- 新校舎鳥瞰図（左）
- 新校舎配置計画（右）

第27回佐久新校懇話会
（2025.7.30）資料より